

技能労務職員の給与・定員管理等の取り組み方針について

【現状】

小野市では、ごみ・し尿の収集・道路維持業務、教育委員会での学校給食や学校用務員の業務に、合計で 46 名の技能労務職員が従事しています。

「行政も経営」であると捉え、「より高度で、より高品質なサービスを、いかに低コストで提供するか」を追及する中、平成 9 年以降、新たな正規職員の採用は実施せず、業務委託や嘱託職員等の配置により、市民サービスを低下させずに、コストの削減を図っています。

一方では、同種の民間企業と比較して、給与面では高額なのではないかという厳しい批判・指摘もあり、民間事業者との比較を行い、住民の理解と納得が得られるものとなるよう、総合的な点検を進めています。

(技能労務職員給料の状況)

(平成 19 年 4 月 1 日現在)

区分	人数	平均年齢	平均給料月額(円)
清掃職員	12	51 歳 1 月	360, 325
給食センター	14	46 歳 9 月	328, 121
学校用務員	6	49 歳 11 月	334, 617
自動車運転手	0		
水道・道路・庁舎等	14	47 歳 9 月	332, 570
(平均)	46	48 歳 11 月	340, 326

【現在までの取り組み状況】

1. 民間委託の推進

民間委託については、市民病院給食業務の全面委託や学校用務員の業務の一部を民間委託とし、サービスの低下を招くことなく、コストの削減を実施してきました。水道業務においては浄水場の管理業務や窓口業務を民間委託としておりますが、特に「水道お客様センター」の設置は、電話による問い合わせ・相談を 24 時間受け、迅速に対応するなど、市民サービスを向上させました。

2. 職員数の削減

技能労務職員の採用を停止し、職員の削減を進めてきました。

(参考)

職員数の推移

(各年度 4 月 1 日)

	H16	H17	H18	H19	H20 (見込)
技能労務職	61 名	54 名	51 名	46 名	43 名

3. 給与等の見直し

平成 18 年度の給与構造改革による給料表の見直しにより、平均 4.5% 引き下げました。また、特殊勤務手当の見直しにより、技能労務職員に支給されていた特殊勤務手当はすべて廃止しました。

(削減を行った主な特殊勤務手当)

手当名	削減額(千円)
清掃作業(塵芥、し尿収集業務)	1, 479
自動車運転業務(塵芥車、重機、配送車)	651
汽缶業務(高圧ボイラー運転)	167

【今後の取り組み方針】

1. 民間委託の推進

「民間でできることは、民間で」との方針により、業務の民間委託を進め、市民サービスの向上を図ります。

2.職員数の削減

今後も退職に伴う正規の職員採用は行わず、さらなる削減を実施します。

(方針どおり職員採用を実施しなかった場合の今後の見込) (各年度4月1日)

年度	H20	H25	H30	H35
人数(見込)	43名	31名	21名	13名

3. 人事評価制度の導入

「市民サービスの向上」のためにも、職員の成果に応じた処遇を行うことが大切です。平成20年度から技能労務職員についても、他の職種において既に実施している「人事評価制度」を導入(平成19年度試行済)いたします。その評価を勤勉手当等に反映させ、「成果と報酬が連動するシステム」とし、市民サービス向上のための意識改革を図っていきます。

4. 適正な昇給・昇格制度

職員の昇給・昇格については、さらに「能力成果主義」を実践し、上記3で行った人事評価結果等をより反映させた適切な昇給・昇格システムを構築していきます。なお、査定昇給については、一般行政職(管理職は導入済)と同様、早期の導入を目指します。